

令和3年4月26日（月曜日）



全国で高速道路 4車線化推進を

足立参院議員、災害
対策特別委で質問

自民党の足立敏之参院議員は23日の参院災害対策特別委員会で、今後の防災・減災対策を質問した。写真。2月の福島沖地震により常磐自動車道でのり面崩壊が発生したことに触れ、日本で約4割残っている暫定2車線区間が韓国では解消していると紹介。諸外国と比較した取り組みの遅さを指摘し、「全国を対象にできるだけ早く4車線化を進めるべきだ」と訴えた。

災害対策基本法一部改正案に関する質疑では、広域避難の在り方を災害発生前から検討する必要性を強

調。検討段階から国が積極的に関与するよう求めた。内閣府などで構成する災害時情報集約支援チーム（ISUT）が孤立集落解消を支援する地図を作製した。2020年7月豪雨の例を挙げ、防災分野のデジタル化を進める重要性も指摘。小此木八郎防災担当相は「関係機関と連携し、情報共有することでデジタル化を図っていく」と応じた。

積極的にデジタル化を

災害時の情報共有重要

委員
対議
院立
で足
参



自民党の足立敏之参院議員は、23日の参議院災害対策特別委員会で防災分野のデジタル化について質問した。「防災分野はすべての官庁が協力して対応することが求められている」として、災害時情報集約支援チーム（ISUT）

による取り組み事例を挙げ「積極的にデジタル化に取り組んでいく必要がある」と訴えた。写真。

小此木八郎国土強靱化担当相は、「災害時に各機関が把握した情報を共有する時に、デジタル技術を活用することが重要だ」と足立議員の意見に同調。その上で、「昨年12月から有識者からなるワーキンググループを設置して、事前防災や人命共助の場面における防災のデジタル化に向けた課題の整理、施策の検討を進めている。5月をめどに提

言をとりまとめる」と説明した。

答弁を受けた足立議員は、「3次元基盤情報をベースにしてハザードマップを作成する取り組みについて、全国測量設計業協会連合会の協力を得ながら自民党の議連で検討しており、そういったものの連携システムの開発もお願いしたい」と提案した。

防災分野のデジタル化 5月にも提言まとめ

内閣府

内閣府は、事前防災や人命救助での防災のデジタル化推進に向けた課題



課

ブを設置、課
キンググル
防災技術ワ
なるデジタル
に有識者から
020年12月
に向けて、2

の整理、施策の検討を進めており、5月にもワーキンググループによる提言がまとまるとした。23日の参院災害対策特別委員会で足立敏之参院議員「写真」の質問に答え

一元化するSIP4Dを活用している」「令和2年7月豪雨では同システムを活用してISUTを派遣。孤立集落の位置、道路・電力の復旧状況などを電子地図で関係機関と共有し、孤立集落の解消、ライフラインの復旧、被災者支援に寄与した」と答えた。

さらに、事前防災や人命救助のデジタル化推進
「2018年度から各種災害情報を電子地図上に
「3次元基
足立議員は「3次元基
盤データなどの情報とも
共有化できるシステムの
開発を考えてほしい」と
結んだ。

題の整理を進めていると
した。

小此木八郎防災担当大臣は、「関係省庁と連携しつつデジタル技術活用
のさらなる高度化を図っ
ていく」と述べた。

令和3年4月26日（月曜日）



【参議院災害対策委】足立敏之議員「防災分野で積極的なデジタル化を」

足立敏之参議院議員は23日に開かれた参院災害対策特別委員会で、防災分野におけるデジタル化に積極的に取り組む必要があるとの見解を示し、内閣府の小此木八郎・防災担当大臣に見解を求めた。小此木大臣は「各機関がさまざまな情報を把握し、共有することにデジタル技術を活用することが重要と認識している」と述べ、関係省庁と連携しながらデジタル技術を活用した取り組みのさらなる高度化を図る考えを示した。



防災分野のデジタル化の見通しを問う足立議員

内閣府では、各種災害情報を電子地図上に一元化するシステムを活用している。具体的には現地で災害情報を集約、電子地図化して各機関に提供する災害時情報集約支援チーム（ISUT）を被災地に送り、孤立集落の解消やライフラインの復旧、被災者支援策の立案などにつなげている。また、昨年12月に設置した有識者によるデジタル・防災技術ワーキンググループが、事前防災や人命救助の場面等における防災のデジタル化推進に向けた提言を5月にもまとめる見通しだ。

足立議員は、3次元の地盤情報をベースにハザードマップを作成する取り組みが進んでいることを紹介し、同情報を共有化できるシステムの開発を要請した。